

7. 雪氷輸送物流システムの実現に向けて

本実証実験調査では、産地・輸送・利用に係る雪氷輸送実験を実際に行うことで各種の有用な「実証実験による知見」を得た。

また、実証実験の中で様々な手法を検討することで、雪氷輸送物流システムの「事業化モデル」を構築した。

このシステムの実現に向けて、さらに今後の技術開発や要素技術を蓄積することで、氷冷熱の供給効率や事業効率全体の向上を図り、民間事業者が既に有している資機材の有効活用やノウハウを利活用することで、より効率化されたと考えている。

また、二酸化炭素削減等の環境効果がコスト換算可能となると、システムの実現に向けた可能性は高まると予想している。

今後このシステムも含め、北海道の雪氷が冷熱エネルギーとして幅広く活用されることを期待している。